TOKIO MARINE Topics (物流関連速報)

令和５年６月梅雨前線による大雨に関する注意喚起

TOKIO MARINE GROUP
To Be a Good Company
東京海上日動火災保険株式会社
（2023 年 6 月 30 日）

現在、活発な梅雨前線の影響により、6 月 30 日～7 月 1 日にかけて西日本から北日本にかけての広い範囲で非常に激しい雨が降り、警報級の大雨となるおそれがあります。本号では被害発生防止への注意喚起を中心にお伝えいたします。

1. 梅雨前線による大雨への注意喚起

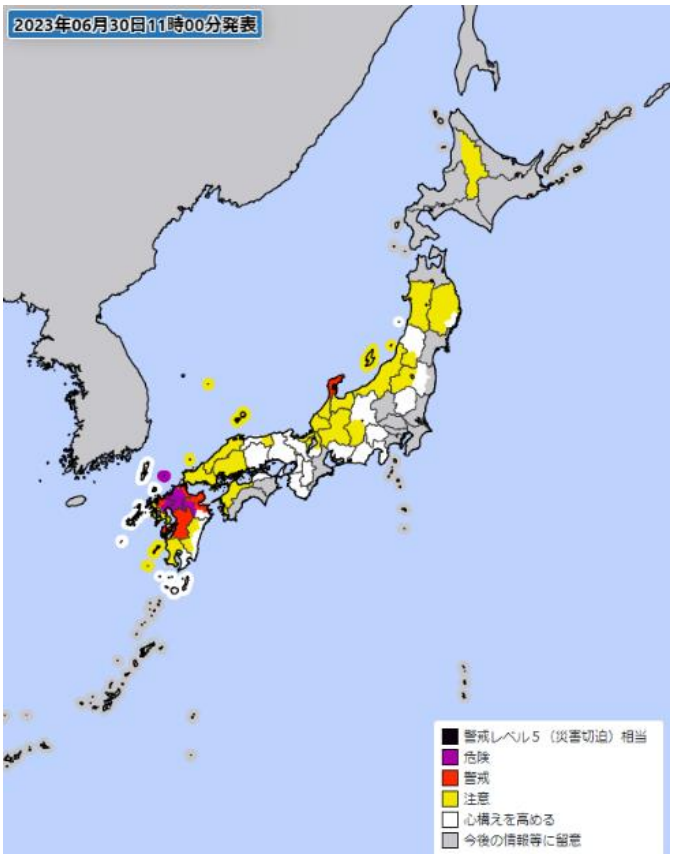
今日 6 月 30 日(金)、日本海側に伸びた梅雨前線上の低気圧が午後にかけて北日本を通過する見込みで、局地的に激しい雨が降る可能性があるため警戒が必要です。

気象庁によりますと日本海にある低気圧を伴う前線に向かって南から暖かく湿った空気が流れ込み、九州など日本海側で雨雲が発達しています。既に雨雲は秋田県等東北地方にもかかっており、今後北海道の道南へ移動していき、道東でも大雨となる予想です。

このため、九州や西日本から北日本の日本海側を中心に大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴って 1 時間に 50 ミリ以上の非常に激しい雨が降るおそれがあります。

今後、ふだん雨の少ない日本海側の地域を中心に雨量が多くなる見込みで、災害の危険性があるとして土砂災害や低い土地の浸水などに警戒するよう呼びかけています。

また、7 月1日にかけて、梅雨前線が九州から本州へ南下しており、これは梅雨の最盛期に見られる気圧配置で、災害級の大雨が予想されます。



（6 月 30 日 11 時 気象庁発表）

最新の情報は、気象庁 HP・ニュース等をご確認ください。

ここ数日の大雨で地盤が緩んでいる地域があり、少ない雨量でも土砂災害の危険度が高まるおそれがありますのでご注意ください。

また、暖かく湿った空気の影響で線状降水帯が形成されると、非常に激しい雨が数時間にわたり降り続くことで雨量が多くなるおそれがあります。土砂災害や低地の浸水、河川の増水・はん濫等に警戒してください。

2. 事前の対策について

台風・集中豪雨は平時からリスクを想定し、タイムラインに沿った防災行動計画の策定と、対策ツールの準備など、具体的に対策を検討・実行していくことにより減災が可能と言われております。今一度、社内関係部署との連携方法や対策ツール類のご準備・すぐに取り出せて使用できる状態になっているかといったご確認をお勧めいたします。

各現場でご使用いただける点検チェックシートを添付いたしましたのでご活用下さい。

◇◆

【出典】 気象庁 https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#5/34.488/137/&elem=all&contents=warning_level

本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。編集にあたっては万全の注意を行っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとします。

マリントピックス　バックナンバー